

二〇〇五年五月臨時議会 二〇〇五年度予算案に反対の討論

二〇〇五年五月二七日 日本共産党 藤木くにあき

庄原選挙区選出の日本共産党の藤木くにあきでございます。

私は、二〇〇五年度予算のうち、議案第三十四号一般会計予算案、ならびに議案第三十九号国民健康保険特別会計予算案に反対の討論をおこないます。

私は、合併後の予算編成に先立ち、昨年十一月、旧庄原市長に対してではありますが、「市民本位の市政への転換を求める要望書」を提出し、国の悪政によって、庄原市の財源が、年々、億の単位で、不当に削減されている現実をふまえ、「政府に対し、ムダな大型公共事業の削減や、米軍への思いやり予算を含む膨大な軍事費の削減、大企業や大資産家への適正な課税による財政再建を求められること」、「市政においては、福祉や教育の充実を基本とする、市民のくらし優先の財政運営に改められること」を強く求めてまいりました。また、そうした観点から、「投資的経費である普通建設事業を無理のない計画に改められるよう」重ねて強く求めてまいりました。

しかし、今回の施政方針では、国の悪政に対する憤りを感じることは、残念ながらほとんどできませんでした。また、ムダな大型公共事業の削減や、大企業などへの適正な課税による財政再建を政府に求めることについても全く触れられませんでした。

私は、今回の予算は、合併後、初の予算だけに、地方交付税などが、不当とはいえ、億の単位で削減されている現実をふまえ、福祉や教育の充実を基本とする、市民のくらしをまもる財政運営に徹すること、

そうした観点から、投資的経費である普通建設事業を無理のない計画に改めることを明確にうちだす必要があったと考えています。

特に、七十四億円もかかるといわれるケーブルテレビ事業などを優先し、市民に高いゴミ袋を押しつけたり、Uターン助成金を打ち切るようなことは、断じてすべきではないと考えます。

また、市長は、五十一億円ともいわれる新庁舎の建設、二十億円ともいわれる総合福祉会館の建設、六億六千万円ともいわれる上野総合公園第二期整備計画などの大型建設事業を、債務負担行為などの手段も使い、優先実施しようとしておられます。しかし、私は、ここに大きな問題点があると考えます。

例えば、庄原地区に関する建設事業を見ただけでも、やるべきことは山積しています。耐震診断で「倒壊、崩壊する」と診断された庄原小学校や庄原中学校の建替えは焦眉の課題となっており、建設費は五十億円を下ることはないでしょう。また、手狭で、老朽化している庄原保育所の建替えも十三億円はかかるといわれています。五億円ともいわれる市民会館の駐車場整備、その他にも老朽化した保育所はいくつもあり、数え上げればきりがなくらいです。

それだけに、住民サービスを後退させないで、これらの事業をすすめていくためには、一体どの事業を優先すべきなのか、例えば、庄原小、中学校の建替えを優先するのか、後回しにするのか、総合福祉会館は、当面、ふれあいセンターを活用することはできないのか、市の庁舎は、どこに建設することがよりベターなのか、他の公共施設との配置はどうなのか、五十一億円もかける必要があるのかなど、中長期の綿密な財政計画をふくめ、広く市民の意見を求めて、決めてゆくべきではないでしょうか。私は、このことを強く求めるものです。

助役の二人制については、部長制、支所長制を活用することで努力すべきであり、当面、その撤回を強く求めるものです。また、七名の人権推進課と九名の人権相談員制度を設けておられますが、実状に即して、本庁の市民生活課、支所の市民課の体制を充実し、男女共同参画のとりくみや、市民のさまざまな生活相談に応じられる総合相談窓口を一日も早く実現すべきではないでしょうか。さらに、生涯学習課の体制を充実して、憲法、教育基本法、社会教育法に基づく教育の条件整備にとりくむべきではないでしょうか。

国民健康保険特別会計予算案に反対する主な理由は、国保財政安定化のための一般会計からの繰入金金を、算定額である七千二百六十万円のわずか十三・八パーセント一千万円に削減するものだからです。そもそもこの制度は、国の国保財政への負担金削減の見返りとして地方交付税で措置されているものであり、その五割を繰り入れただけで二千六百万円も繰入金が増え、医療費抑制に効果のある予防、保健事業を一・五倍に充実することができます。私は、このような削減をやめるよう強く求めるものです。

最後に、新年度予算案で、出産祝金を復活されたこと。庄原小学校の放課後児童クラブの拡充、板橋保育所、東城保育所の建設、東城地区の乗合バスの購入をはじめとする各地域事業。飲料水確保のボーリング助成の充実、旧庄原市では廃止となっていた生活道舗装の助成復活などについては、きちんと評価すること。庄原赤十字病院の産婦人科医師の早期確保に、市議会、市議会、病院などと力をあわせ全力でとりくむこと。また、中小業者の支援に役立つ「住毛リフォーム助成制度」の早期実現を強く求めることを申し添え、私の討論といたします。